



クラウド活用入門編

自社サーバー運用から脱出ませんか？ 基幹業務システムをクラウドへ

「IT専任のスタッフがないので自社サーバー運用が負担」

「経理や会計システムが自社サーバー上で動いているので、定期的な買い替えや保守に時間を取られている」等のお悩みをお聞きます。

自社サーバーでの運用や買い替えを行うのではなく、クラウドへ移行してはいかがでしょうか？

お客様の課題やユースケース

Case ▶ 基幹業務システムを自社のPCサーバーで管理

課題

経理や会計のシステムをPCサーバーで管理しており、定期的にサーバーの買い替えや運用保守（バックアップ運用、セキュリティパッチの適用、障害時運用等）に時間を取られている

解決策

基幹業務のサーバーをクラウドに移行
(例：勘定奉行 on AWS)

特徴【お客様にとってのメリット】

- ① 運用工数削減
- ② コスト削減
- ③ DR 対策

お客様事例

「IT専任スタッフがない中『奉行シリーズ』をAWSに移行。
管理負荷の軽減とサービス品質の向上を実現」

永峰・三島コンサルティング

税務、会計、給与計算、支払い代行などのアウトソーシングサービスを提供する永峰・三島コンサルティング

お客様状況・課題

- 国際監査基準 ISAE3402 への準拠
- 手動バックアップの自動
- IT専任のスタッフ不在でもデータ管理を強化

AWSを選択した理由

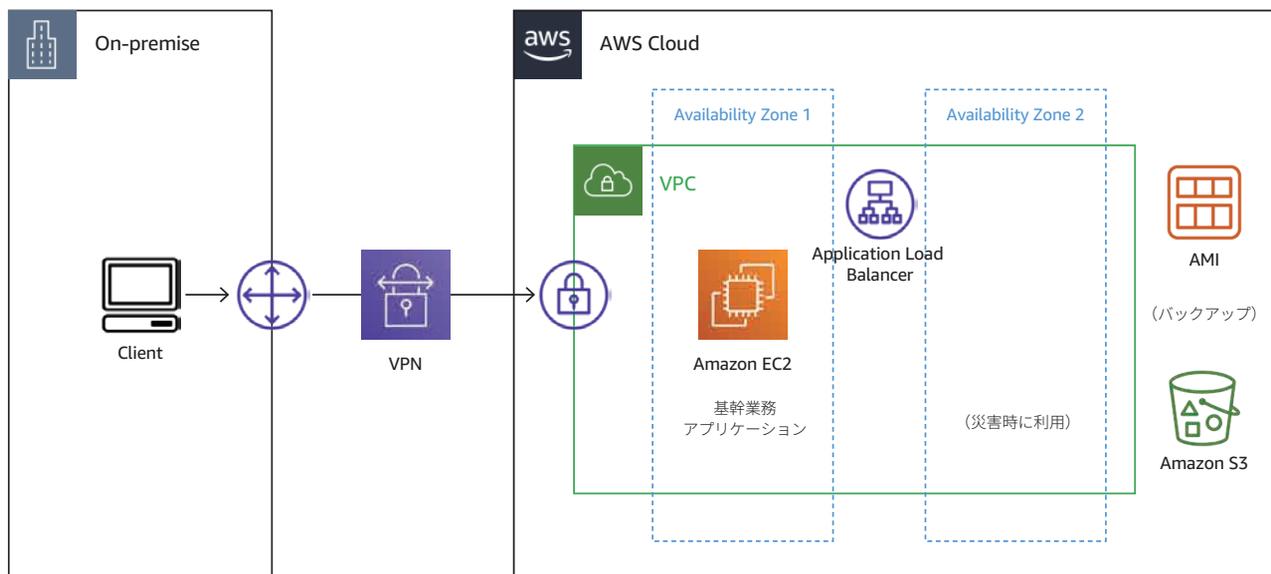
- 国際基準に準拠するバックアップ・リストアの仕組みやアカウント管理に対応可能
- 『奉行シリーズ』など、基幹業務システムの稼働実績
- 土業の業務内容を理解するAPNパートナー

効果

- 国際基準の準拠により、信頼性が向上。新規顧客が増加傾向に
- 手動で行っていたバックアップの手間や従業員の心理負担が軽減
- 暗号化処理など、追加の要件にも柔軟に対応し、信頼性が向上
- 業務の自動化によるさらなるサービス向上

AWSクラウド活用例

基幹業務アプリケーションのサーバーをクラウド移行して、Amazon EC2 で稼働するだけで、サーバーの保守メンテナンスを省力化し、5-7年ごとに発生する H/W の買い替えサイクルのオペレーションから開放されます。また、AWS のアベイラビリティゾーンを複数ご利用いただくことで、追加料金無く DR 対策を行うことも可能となります。



他のお勧めサービス

AWS VPN (Site-to-Site VPN)

AWS サイト間 VPN は、オンプレミス環境と AWS クラウドリソース間の安全な接続を作成します。オンプレミスとのセキュアな通信を確立したい場合にご利用ください。

Elastic Load Balancing

Elastic Load Balancing は、アプリケーションへのトラフィックを複数のアベイラビリティゾーン (AZ) 内の複数のサーバーに自動的に分散します。これにより災害時などに別のアベイラビリティゾーンに起動した予備のサーバーにリクエストを自動で切り替えることも可能です。

Amazon S3

アプリケーションのデータを保存するために、Amazon S3 のご利用をお勧めします。Amazon S3 は最低 3 つのアベイラビリティゾーンにデータを冗長的に保存し、99.99999999% のデータ耐久性を提供しています。

AWSクラウドの無料相談を受け付けています。

資料請求、お見積りのご相談、またお客様のユースケースにおける構築、AWS パートナー紹介に関するご相談は、お気軽に <https://go.aws/3xlbZhN> よりお問い合わせください。平日営業時間内に担当者よりご連絡いたします。チャットでもご相談いただけます。(平日 10:00~17:00 / 土日祝日除く)



アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア

<https://aws.amazon.com/jp/>

Copyright © 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。2023年3月現在の情報です。記載内容については変更の可能性があります。